



建設業の労働災害急増中！

神奈川県内で死亡災害が多発しています！

令和4年における建設業の県内の死亡災害による死者数は、前年の21人から、9人と大幅に減少しました。

しかし、今年に入って、県内で建設業の死亡災害が急増しており、10月末の段階で、前年同期の死者数が6名だったのに対し、今年はずでに13名が亡くなっています。

令和5年 死亡災害発生状況

令和5年10月末現在
神奈川県労働局

	死亡災害把握数			死亡災害件数		
	本年 (令和5年)	前年同期 (令和4年)	前々年同期 (令和3年)	令和4年 (確定値)	令和3年 (確定値)	令和2年 (確定値)
建設業	13 (1)	6 (1)	17 (2)	9 (1)	21 (2)	14 (3)

横浜南署管内で休業災害が増加しています！

横浜南労働基準監督署管内では、今年の8月に建設業の死亡災害が、1件発生しました。また、休業4日以上之死傷災害が急増しており、10月末の段階で55件と前年同期比の約17%増加しています。

令和5年 休業災害の内訳(10月末現在)

災害種別	件数	災害種別	件数	災害種別	件数
墜落・転落	17	転倒	3	激突	1
飛来・落下	5	崩壊・倒壊	1	はさまれ・巻き込まれ	11
切れ・こすれ	4	踏み抜き	1	高温低温との接触	1
有害物との接触	1	感電	1	交通事故	2
動作の反動・無理な動作	5	その他	2		

労働災害防止のための重点実施事項

- 正しい作業手順と安全作業の基本の順守
- 作業開始前の打ち合わせの実施(予定外作業が生じた場合はその都度)
- 現場巡視の徹底
- 「安全の見える化」の推進
- 安全衛生教育の充実

令和5年 死亡災害の概要【建設業】

神奈川県労働局
令和5年10月末現在

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模 被災者の年齢層	起因物 事故の型	発生概要
1	2月 16時頃	土木工事業 (1次下請) ～9人 60歳～64歳	掘削用機械 墜落、転落	河川工事現場で、ドラグ・ショベルを運転し、残土を詰めたフレキシブルコンテナバッグ2個をつつて旋回中に、川岸の仮設道路から約3メートル下の川底に車両ごと墜落した。
2	2月 8時頃	その他の 建設工事業 ～9人 65歳～69歳	荷姿の物 飛来、落下	工場内の配管工事現場で、交換用ボルト・ナット約30キログラムを繊維製道具袋に詰め、ホイストでつり上げ中、約15メートルの高さで袋の持ち手紐が破断して袋が落下し、下の地面で次のつり荷を準備していた被災者の頭に当たった。
3	3月 14時頃	建築工事業 (元請) 100人～299人 20歳～24歳	地山、岩石 崩壊、倒壊	ビル新築工事現場で、基礎杭の杭頭の計測のため、杭頭までドラグ・ショベルで穴を掘り、その穴に下りて杭頭の上に残る土をスコップで払い落とし中、掘削面が土砂崩壊した。
4	3月 16時頃	建築工事業 (2次下請) 30人～49人 80歳～84歳	トラック 交通事故(道路)	ビル新築工事現場で、型枠材搬入を終えたトラックの運転者が降車中に、警備員がタイヤの歯止めを外したため同車が下り坂を無人で動き出し市道に出た。運転者は警備員2名とともに車の前で押し止め中に転倒し、前輪にひかれた。
5	3月 12時頃	土木工事業 (1次下請) 10人～29人 75歳～79歳	地山、岩石 崩壊、倒壊	道路に埋設された下水管の交換工事現場で、古い下水管を撤去後の深さ1.3メートル、幅1.1メートル、長さ9メートルの掘削溝に下りてスコップで掘削中、掘削面が土砂崩壊した。
6	6月 10時頃	土木工事業 ～9人 50歳～54歳	その他の環境等 その他	集合住宅敷地内の植栽剪定及び除草作業中、低木の庭木剪定を行っていたところ、営巣していた蜂に手の甲を刺され、アナフィラキシーショックを発症し入院。2週間後に死亡した。
7	6月 14時頃	土木工事業 (2次下請) 10人～29人 60歳～64歳	足場 墜落、転落	新設中高速道路の橋梁上部工事現場で、つり足場を橋桁の下に組立て中の作業者が、同足場の単管の隙間(約2×1メートル)から約13メートル下の地面に墜落した。
8	8月 13時頃	土木工事業 (1次下請) 10人～29人 30歳～34歳	水 おぼれ	河川の護岸工事における締切工内での河床掘削場所が、水位の急上昇による越水で水没し、作業者ら4名が急流につかりながら退避中に1名が流され、5キロメートル下流で発見された。発生時刻と同じ頃に大雨警報が発表されていた。
9	8月 11時頃	土木工事業 (1次下請) ～9人 40歳～44歳	開口部 墜落、転落	マンション敷地内の除草現場で、刈払機・手のこ・せん定ばさみを使い一人作業中、斜面擁壁の天端(幅約60センチメートル)から、擁壁一体型躯体と擁壁の間の開口部の底へ約9メートル墜落した。
10	8月 12時頃	建築工事業 (1次下請) ～9人 40歳～44歳	研削盤、パフ盤 切れ	木造住宅解体現場で、脚立に乗りながら、敷地境界の鉄柵を携帯用研削盤(と石カバーを取り外した、と石直径125ミリメートルの電動ディスクグラインダー)で切断しようとしたところ、当該研削盤が跳ね返って首を切った。
11	8月 9時頃	建築工事業 (1次下請) ～9人 40歳～44歳	その他の 動力クレーン等 墜落、転落	木造住宅の屋根瓦のふき替え工事において、2階屋根外周の足場にかけた2連はしご(瓦の荷揚げ機を取り付けているもの)を降りているとき、高さ4メートル付近から墜落した。
12	8月 11時頃	建築工事業 (1次下請) ～9人 75歳～79歳	足場 墜落、転落	木造住宅新築現場で、高さ約4メートルの一侧足場上で左官作業中(2階ベランダの壁下地へ防水シート貼り付け中)、足場と建物の隙間(約50センチメートル)から約1メートル下の下屋根に落ち、さらに地面に墜落した。
13	9月 13時頃	土木工事業 (1次下請) ～9人 60歳～64歳	地山、岩石 飛来、落下	山林内の崩壊斜面の前に治山ダム(谷止工)を新設する工事現場で、ダム底部の床掘り作業中、斜面上方(高低差10メートル以上)からの落石(約2メートル四方)が、道具を使って地ならし中の被災者に当たった。

死亡災害の概要の掲載内容については、未確定のものであり、調査の進展とともに、変更(業務に起因しない場合における事案の削除を含む。)を行う可能性があります。